

岡崎乾二郎氏 講演会

事実性＝共約不可能性の引き受け／受苦

岡崎乾二郎氏は、現代アート、現代思想および批評の分野の第一線で活躍する先鋭的なアーティスト。同氏の有名なブランカッチ礼拝堂の研究(『ルネサンス 経験の条件』参照)に明らかのように、その作品および文章ではキリスト教がしばしば重要な主題となっている。しかし、その理由について岡崎氏が明らかな言葉を与えたことはなかった。この講演会では、プロテスタントの牧師を曾祖父、祖父にもつ岡崎氏が、キリスト教、信仰、そして「宗教的」と形容せざるをえない経験と制作との関係に初めて焦点を当てて話をする。

● 日時: 2016年2月21日(日)

13:30～15:30(開場13:00)

● 会場: 賀川記念館 メモリアルホール

〒651-0076 神戸市中央区吾妻通5-2-20

※JR、阪急、阪神、地下鉄 三宮から徒歩15分
阪神 春日野道から徒歩7分
阪神バス 吾妻通4丁目下車 西へ徒歩1分

岡崎乾二郎(おかざき けんじろう)氏

造形作家。武蔵野美術大学客員教授。1955年東京生まれ。1982年パリ・ビエンナーレ招聘以来、数多くの国際展に出品。「灰塚アースワーク・プロジェクト」、「なかつくに公園」等のランドスケープデザイン、2002年「ヴェネツィア・ビエンナーレ第8回建築展」(日本館ディレクター)、2007年現代舞踊家トリシャ・ブラウンとのコラボレーションなど、つねに先鋭的な芸術活動を展開してきた。東京都現代美術館(2009～2010年)における特集展示では、1980年代の立体作品から最新の絵画まで俯瞰。2014年BankART1929「かたちの発語展」では、彫刻やタイルを中心に最新作を発表した。主な著書に『ルネサンス 経験の条件』(文春学藝ライブラリー、文藝春秋 2014年)、『芸術の設計—見る/作ることのアプリケーション』(フィルムアート社 2007年)。祖父の鈴木伝助(1886～1977)は賀川豊彦と神戸神学校時代の同窓であり、生涯の友人となった人物である。

◆お問い合わせ

関西学院大学キリスト教と文化研究センター

TEL: 0798-54-6019 • http://www.kwansei.ac.jp/c_rcc/index.html

* 一般参加可・申込不要